

会社概要・編集方針	2012年度ハイライト	トップコミットメント	金融機関として 取り組むべき優先課題	優先課題: ケーススタディ	SMFGにおけるCSR
盤石な経営体制	CS・品質向上への取り組み	環境活動	社会貢献活動	人の尊重と人材活用	各種データ集

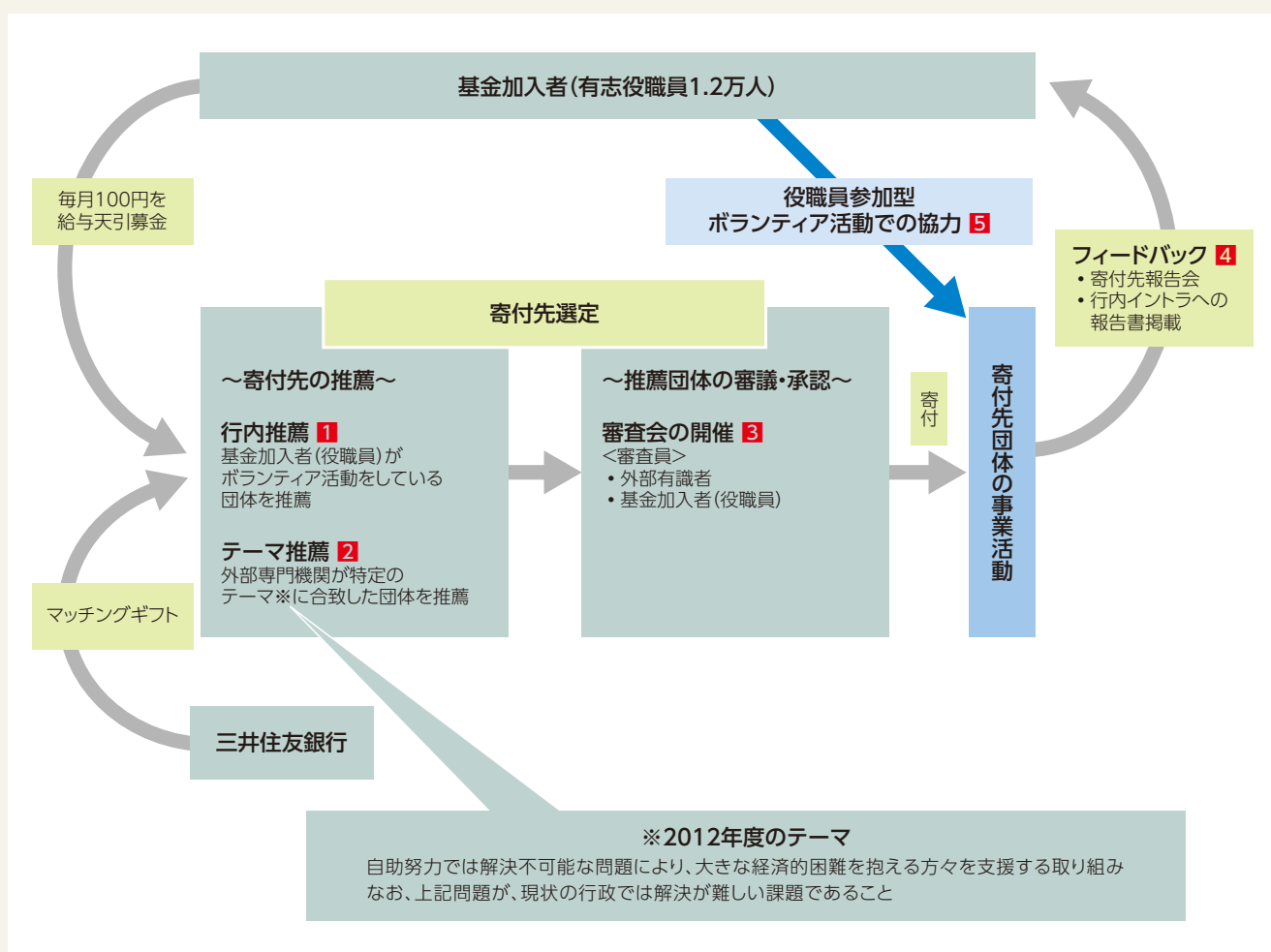
Close-up 社会貢献活動への従業員参加を促進

三井住友銀行ボランティア基金について

有志従業員の給与から毎月100円を天引きする積立募金で、約1万2千名が加入しており（2013年7月現在）、当行からも毎年マッチングギフトを行なっています。

本基金では、寄付先の選定に、加入者である有志従業員が積極的に関わることができる仕組みとしているほか、専門性の観点から外部機関や有識者にもご参加いただいています。また、寄付実施後には寄付先団体を招いての寄付使途報告会を開催し、寄付先より直接フィードバックをいただく機会を設けています。2013年度からは、さらに有志従業員が寄付先のボランティア活動に参加する取り組みも開始しました。

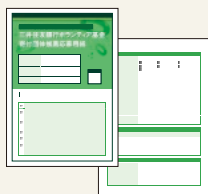
●「三井住友銀行ボランティア基金」の全体図



寄付先の推薦

》》 行内推薦 1

基金の加入者が、日ごろからボランティア活動で協力している団体を寄付先として推薦することができます。



行内推薦応募用紙

》》 テーマ推薦 2

特定のテーマを設定し、外部専門機関よりテーマに関し高い実効性を有する事業を行う団体の推薦を受けています。2012年度は、大きな経済的困難を抱える方々を支援する国内外の取り組みについて推薦を受けました。

会社概要・編集方針	2012年度ハイライト	トップコミットメント	金融機関として 取り組むべき優先課題	優先課題:ケーススタディ	SMFGにおけるCSR
盤石な経営体制	CS・品質向上への取り組み	環境活動	社会貢献活動	人の尊重と人材活用	各種データ集

Close-up 社会貢献活動への従業員参加を促進

審査会の開催 ～推薦団体の審議・承認～ 3

外部審査員(有識者)と行内審査員(基金加入者の有志)で構成される審査会で、上記112で推薦された団体を審議し、寄付先を決定しています。2012年度は外部2名と、行内9名による審査・承認を経て、34団体(行内推薦14団体、テーマ推薦20団体)に寄付を行いました。



ボランティア基金審査会

業の意義をより深く理解することにつながっています。2013年度は東京・大阪の3か所で開催し、2012年度寄付先のうち8団体に報告いただきました。このほか、行内のイントラネットに寄付実施報告書を掲載し、加入者に結果をフィードバックしています。



寄付先報告会

寄付先報告会の開催 ～加入者への報告～ 4

寄付先団体を招き、寄付金使途の報告会を開催しています。社会的な課題の解決に取り組むNPOの生の声を聴くことで、加入者が寄付金の使われ方を確認するとともに、団体や寄付事

ボランティア活動による協力 5

2013年度より、基金の一連の流れを更に発展させる形で、寄付先のうちボランティア活動による支援ニーズがある団体に対し、有志役職員がボランティア活動で参加する取り組みを開始しました。実際に体を動かしながら交流や協力を行うことで、団体が取り組む活動への一層の理解促進につながっています。

TOPICS

2012年度寄付先紹介

行内推薦団体より～

「一般財団法人 海のみえる森」

重い病気や障がいと闘う子どもとその家族が、病院とは違い自然豊かなのびのびとした場所で、心と体を休め生きるちからを育むための一時預かり(ショートステイ、レスパイト)施設を神奈川県大磯で運営する団体。日本で初めてのハウス型子どもホスピス。



●推薦した従業員の声

施設の建物はバリアフリー化や老朽化による補修が必要です。重い病気を抱える子どもたちがより良い環境で楽しいひとときを過ごせるよう、寄付金で協力できればと思います。



テーマ推薦団体より～

「特定非営利活動法人 ハンガー・フリー・ワールド」

飢餓のない世界を創ることを目指し、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ウガンダで活動する国際協力団体。

●寄付事業「ブルキナファソでの学校給食事業」

同国では3人に1人が栄養不良の状態、干ばつによる食料量の減少や食料価格の高騰で状況は更に厳しくなっています。こうした中、子どもたちの栄養の改善に加え子どもを学校に通わせる動機として、小学校での給食事業を行っています。

